

AHEAD JAPAN メニュー

1. 開催概要
2. プログラム
3. 参加申込
4. 実践・研究発表の申込
5. 問合せ

AHEAD JAPAN CONFERENCE 2024（第10回全国大会）開催概要

AHEAD JAPAN（全国高等教育障害学生支援協議会）は、大学等の高等教育機関における障害のある学生の修学支援等の充実並びに学術研究の発展等に寄与することを目的として設立されました。各種の関連活動をより具体的なものとするために、また、関係者間のネットワークを更に強化することなどを目的として、年次大会を実施しております。

この度、慶應義塾大学において、第10回全国大会を実施いたします。本大会では、障害学生支援に関する講演、行政説明、対談、テーマ別の分科会等において、障害学生支援に関する最新の動向に触れていただけます。また、障害学生支援に関する実践・研究を発表するポスターセッション、各種の展示ブース等、様々なプログラムを企画しております。是非、ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

大会長：中野泰志（慶應義塾大学／AHEAD JAPAN）
大会実行委員長：村田淳（京都大学／AHEAD JAPAN）

1. 開催概要

日時

2024年8月29日（木）10:00-17:30

2024年8月30日（金）10:00-15:15

開催方法・会場

方法：対面開催（「行政説明」のみ、オンデマンドコンテンツとして大会後に配信予定（会

員のみ)

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 (Map)

主催／協力等

主催 一般社団法人 全国高等教育障害学生支援協議会 (AHEAD JAPAN)

共催 慶應義塾大学

運営 AHEAD JAPAN 大会実行委員会・大会事務局

協力 京都大学 高等教育アクセシビリティプラットフォーム (HEAP)

東京大学 障害と高等教育に関するプラットフォーム (PHED)

日本学生支援機構 (JASSO)

筑波技術大学 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)

筑波大学 発達障害学生支援プロジェクト (RADD)

2. プログラム

Day.1

8月29日(木)

・講演

「障害者運動の水脈をたどる」

登壇者 荒井裕樹 (二松学舎大学)

ナビゲーター 村田淳 (京都大学)

登壇者プロフィール

荒井裕樹・あらいゆうき

二松学舎大学文学部教授。専攻は、障害者文化論、日本近現代文学。

著書に、『障害と文学「しのめ」から「青い芝の会」へ』(現代書館)、『生きていく絵アートが人をく癒すとき』(亜紀書房)、『差別されてる自覚はあるか 横田弘と青い芝の会「行動綱領」』(現代書館)、『障害者差別を問いなおす』(筑摩書房)、『車椅子の横に立つ人 障害から見つめる「生きにくさ」』(青土社)、『まともでない言葉を生きる』(柏書房)、『凜として灯る』(現代書館) などがある。第15回(池田晶子記念)わたくし、つまり Nobody 賞受賞。

・行政説明

「障害学生支援をとりまく社会的動向」

登壇機関等：内閣府、文部科学省、日本学生支援機構

・ポスターセッション／ブース展示

実践・研究のポスター発表

関連団体、賛助会員のブース展示（JASSO、PHED、HEAP、PEPNet-Japan、RADD 等）

・高専分科会

「高専における障害学生支援の現状と課題－各役職の立場から連携や体制作りを考える－」

企画コーディネーター 矢澤睦（仙台高等専門学校）、船越高樹（筑波大学）

・対談

①「改正障害者差別解消法の理念を実現するための大学のあり方：合理的配慮義務化の先を目指して」

企画コーディネーター 中野泰志（慶應義塾大学）

対談パートナー 大胡田誠（おおごだ法律事務所）

②「障害学生支援の専門職はどのようにつくられるか－経験とスキル、そしてキャリアパス－」

企画コーディネーター 藤原隆宏（関西大学）

対談パートナー 吉田朝香（京都大学）

Day.2

8月30日(金)

・分科会企画

[第三次まとめ分科会]

「『第三次まとめ』を紐解く－高等教育機関はどう受け止めていくべきか?－」

企画コーディネーター 楠敬太（佛教大学）

[災害時対策分科会]

「これからのインクルーシブ防災－事例から考える障害・支援・防災対策－」

企画コーディネーター 竹田周平（福井工業大学）

[多職種連携分科会]

「ホンネで語る多職種連携—学生相談・保健管理・障害学生支援 有意義なサポートとは—」

企画コーディネーター 望月直人（大阪大学）

[支援体制のマネジメント分科会]

「障害学生支援のマネジメント—「個」に対応する支援体制のアプローチ—」

企画コーディネーター 森麻友子（和歌山大学）

[入試・高大接続分科会]

「入試の合理的配慮の現状と今後」

企画コーディネーター 近藤武夫（東京大学）

[専門職分科会]

「これからの障害学生支援 —「専門性」を再考する—」

企画コーディネーター 蒔苗詩歌（北星学園大学）、宮谷祐史（関西大学）

3. 参加申込

参加申込フォーム（7月16日公開）

申込受付

事前申込／事前支払（申込開始日に当ページにて申込フォームを公開いたします）

※事前申込のない方の当日受付はありません

申込期間：7月16日（火）～8月19日（月）

定員／先着 550名

※各企画には、手話通訳と文字通訳がつきます。ポスターセッションには手話通訳者、ガイドヘルプ者が待機予定です。必要な方は事前にお申し出ください。その他、障害等により配慮が必要な方は、8月5日（月）までに大会事務局宛にメールにてご連絡ください。

→大会事務局 taikai@ahead-japan.org

なお、各プログラムのスライド資料等（PDF形式）は、大会数日前に参加申込者のみにメールでお知らせする URL からダウンロードしていただけます。

参加対象

AHEAD JAPAN 会員：法人正会員、第1種個人正会員、第2種個人正会員

非会員：以下の参加資格に該当する方

- * 高等教育機関で障害学生支援に関わる、又は関心のある教職員
- * 高等教育での障害学生支援に関心のある研究者、又は大学院生
- * 高等教育での障害学生支援に関わる組織・団体関係者

参加費

会員：5,000円（税込／1人）

非会員：9,000円（税込／1人）

※6月28日（金）までに会員申込の申請をしていただくと、本大会から会員価格でご参加いただけます。

※申し込み時に会員番号（7桁）が必要となります。会員の方は、事前にご自身の所属する機関でご確認の上、お申し込みください。

4. 実践・研究発表の申込

実践・研究発表申込フォーム（7月16日公開）

・実践発表（高等教育での障害学生支援に関する取り組み・実践）、又は研究発表（高等教育での障害学生支援に関連する学術研究）を、ポスター発表形式で募集いたします。

・筆頭発表者となれるのは、「法人正会員の教職員及び大学院生」、「第1種個人正会員の教職員」、「第2種個人正会員」のみです。連名発表者は非会員でもなれますが、会場で発表する場合は大会への参加申込が必須となります。

・筆頭発表者は発表の申込前に、大会への参加申込を済ませてください。

申込方法

申込開始日に、当ページにて発表申込フォームを公開しますので、そちらよりお申しください。申込の際は、発表内容の要旨（750文字以内）を記入し、提出していただきます。

実践・研究発表の申込期間

7月16日（火）～7月26日（金）

5. 問合せ

taikai@ahead-japan.org までメールでお送りください。

AHEAD JAPAN 大会事務局（担当：木谷恵、大会実行委員長：村田淳）